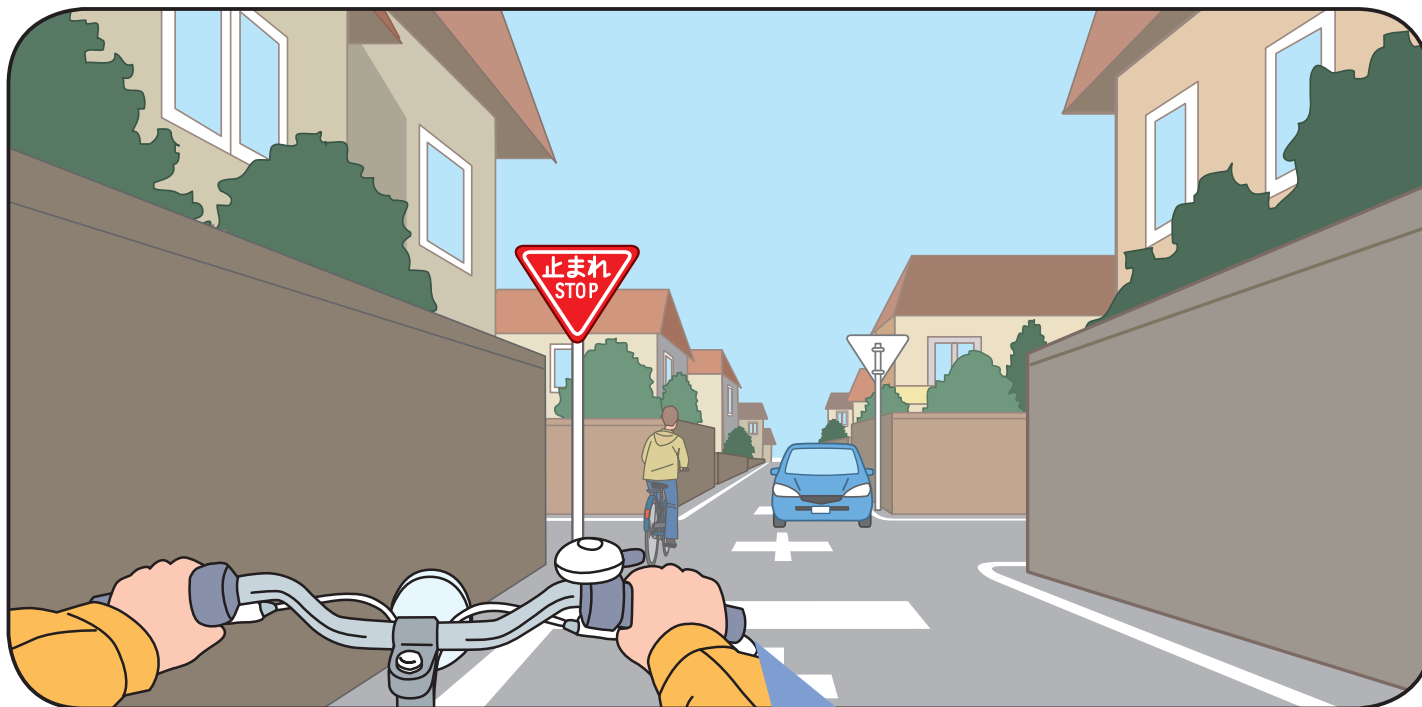


住宅街の見通しの悪い交差点を通行する時（自転車編）



あなたは自転車で友人の後ろを走っています。「止まれ」の標識がありますが、友人は先に交差点に進入しました。

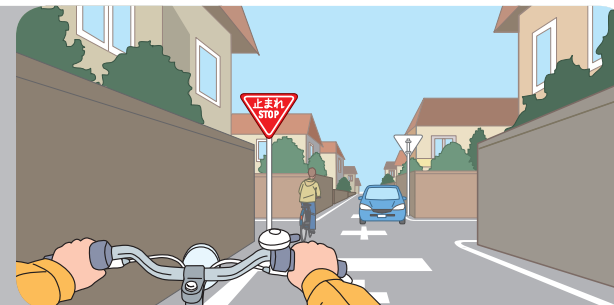
安全に走行するには、
どのようなことを予測する
必要がありますか？

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736

住宅街の見通しの悪い交差点を通行する時（自転車編）

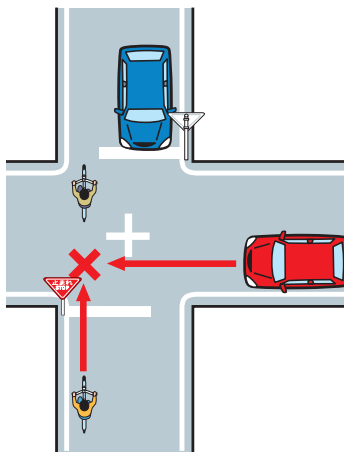
あなたは自転車で友人の後を走っています。「止まれ」の標識がありますが、友人は先に交差点に進入しました。



答え

このような状況ではこんな危険があります

- 左右に塀があり見通しが悪い
ため、交差する道路の状況が
確認できません。前方を走る
友人を追いかけて左右の安全
を確認せずに交差点に進入す
ると、交差する道路をクルマ
やバイクなどが通行していた
場合、衝突する危険がありま
す。



ここがポイント

必ず止まって、クルマなどが 来ていないことを確認する

- 交差点はクルマやバイク、歩行者など、一度にたくさんの情報を確認する
必要がある場所です。住宅街など交通量が少なく信号のない交差点では一
時停止しなかったり、進行しながら左右を確認して道路を横断しがちです。
しかし、今回のように「止まれ」の標識があって見通しの悪い交差点では
停止線の手前で必ず一時停止してから、交差する道路が見通せる場所まで
徐々に進み、再度止まって左右からクルマなどが来ていないか自分の目で
しっかり確認しなければなりません。
- 前を走る友人が交差点内にいるから「クルマは来ていないだろう」と考え
るのは、たいへん危険です。たとえ、友人が通った直後であっても、見通
しの悪い交差点に入るときは必ず一旦止まって安全確認をしてから横断す
る必要があります。危険はないだろうと思い込んだり、進行しながらの安
全確認では、視野が狭くなったり、見落とす可能性もあり危険です。特に、
左右の死角によって周囲の状況が確認できない場合はより一層の注意が必要
です。また、交差する道路を通行するドライバーやライダーからあなたの
姿は見えていません。
- ドライバーやライダーは自分が優先道路を通行していても、自転車は一時停
止せずに飛び出してくる可能性があることを予測しておくことが大切です。

【使用上の注意】

● 営利目的での利用はおやめください ● 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ● その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL: 03 (5412) 1736